

令和4年度 自己点検学校評価報告における調査

札幌歯科学院専門学校

大項目	評価項目	評価(とても良い4 良い3 やや悪い2 悪い1)	自己点検評価内容
教育理念・目的	1 学校の理念,目的,育成人材像,本校の特色を生かした将来構想が定められ,生徒・関係業界等へ周知されているか	3. 5	教育理念・教育目標・教育方針に基づき, 歯科医師会立校であることや歯科衛生士科・歯科技工士科を併設している等の本学院の特徴を生かした両科による合同授業, 歯科医療界の需要に即した各授業内容の工夫により, 歯科医療従事者の一員として地域歯科医療に貢献できる即戦力を目指す教育を実施している. 上記について高等学校等、学生・生徒関係業界はもとより、札幌歯科医師会会員約 1,300 名に対しても学校案内等配布する他、HP 等にも掲載し、周知に努めている。
	2 各学科の教育目標,人材育成像は,学科に対応する業界の需要に向けて方向づけられているか	3. 6	歯科医師会立校として、現役歯科医師により指導している他、即戦力となる人材を育成するためのカリキュラムを組んでいる。 日進月歩な歯科医療の需要に対応するため、各関係団体との連携情報収集などにより、時代に合った人材育成のための情報収集を行っている。
学校運営	3 目的に沿った運営方針,事業計画,体制等が策定されているか	3. 5	本学院の運営方針、事業計画等については、運営委員会、教職員会等の各委員会にて審議、策定されており、その後、法人の総会において承認されている。
	4 情報システム化等による業務の効率化や情報公開が適切になされているか	3. 2	一部文書の保管をデータ化することにより、迅速に共有・閲覧する等の整備を整えている。更なる効率化を図るための改善が必要であると考えている。年度末に情報項目を追加する等ホームページの更新を図り、学校情報や教育活動等について情報公開に努めている。
教育活動	5 教育理念に沿った教育課程の編成,実施方針が策定されているか。	3. 7	教育理念に基づいたカリキュラムを編成しているが、両科とも急速に技術発展を遂げる歯科医療現場において就職後即戦力となり得る人材を養成するため、講座運営（シラバス、教材、運営体制等）の見直しを必要の都度行っている。 医療人として社会貢献する人材育成のため、一般常識まで培うことが出来る教育方法を実施している。また、即戦力となる人材を育成するため、臨床実習施設へ協力・連携を図り、臨床実習を重視している。加えて、外部評価等による対外的な意見を反映することも必要だと考えている。
	6 職員の能力開発のための研修などが行われているか。	3. 5	外部研修の参加費用については学校で負担し、年に数回、全国歯科衛生士教育協議会・全国歯科技工士教育協議会が主催する研修会をはじめとする各種研修会へ出向させ、教員の資質向上に努めている。また、FD・SD 協議会へ加盟し、各種研修会へ参加できる体制を整えている。年 2 回常勤職員に自らの目標を設定させ、当該目標の設定水準・目標達成度等を基礎として総合的に評価を行っている。
教育環境	7 施設,設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3. 4	本学院会館増改築から 38 年経ち、設備面の劣化等が見込まれるため、会議等にて検討しており、適宜整備し、必要とされる環境整備に取り組み、教育環境を整えている。
学生募集	8 高等学校等の機関へ対する情報提供の取組が行われているか	3. 5	副院長・教職員が連携して広報活動を行っており、資料請求や学校訪問等下記のとおり随時説明を行っている。今後も高校訪問等を通して信頼関係を深めている。 (1)オープンキャンパス 15 回実施/年間 オンライン：3 回 対面：15 回開催 参加者 222 名 昨年度のオンラインでの参加者が少なかったことから、対面と同日開催で実施した。 (2)進学相談会 53 回参加 進学相談会の参加者は例年減少しているが、学生と直接話すことが出来る貴重な機会である。 開催は例年の実施状況に戻りつつある。校内ガイダンス等、学生がより多く出席する相談会をメインとして参加し、多くの生徒へ面談したいと考えている。 (3)職業体験学習(中学校) 参加校：3 校 参加者：19 名 (4)高等学校訪問 245 回実施(うち学生同行なし) オープンキャンパスや外部広報誌等に掲載し、正確に周知している。今後は SNS やオンライン対応も含め、最情報をよりわかりやすく正確に伝える工夫が必要である。
	9 資格取得,就職状況等の教育成果は正確に伝えられているか	3. 7	

大項目	評価項目		評価(とても良い4 良い3 やや悪い2 悪い1)	自己点検評価内容
財務	10	中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2. 3	今年度は定員に対し、入学者が6割未満となり、財政基盤が安定的でない状況となった。 適宜、設備の修繕費用も経常されていることによる影響も含まれる。そのため、学生募集活動の充実化・退学希望者の減少・国家試験合格率の向上・支出等の見直しを行い、財務基盤の安定化に努める必要がある。
	11	予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2. 9	予算、収支計画については、審議項目が運営規程に明記されており、教職員会・運営委員会・理事会を通し、予算、収支計画が策定される。法人の総会においても承認されている。
法令等の遵守	12	法令、専修学校基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3. 5	歯科衛生士・歯科技工士学校養成所指定規則に従い、届出等について、必要事項を掌握しており、今年度一部提出書類について煩雑な作業となり提出が遅れたものがあったが、適切に対応し、法令順守に努めている。
	13	個人情報について保護対策が取られているか	3. 7	「札幌歯科学院専門学校における個人情報の取扱いについて」学院長が定めた規則に従い、本学院が保有する個人情報について管理者・管理方法・管理場所が明確となっており、学生等についても「個人情報に関する同意書・誓約書」を提出してもらっている。 実習施設との間で診療内容や個人情報の保護に関する誓約書を交わしており、学生にも十分注意をしている。昨年度において違反する学生は無かった。
社会・地域貢献	14	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献をおこなっているか	3. 5	北海道私立専修学校各種学校連合会主催札幌市市教委タイアップ事業「進路探求学習オリエンテーリング」を実施し、中学生に向けた歯科衛生士と歯科技工士の職業体験授業を行い、職業の認知・向上に努めている。 (参加校 3校 計 3名)
	15	生徒、学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2. 9	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している高齢者施設・障害者施設等における臨床実習を通じた市民の口腔衛生維持向上への貢献、及び6月に開催する「歯と口の健康週間事業」での口腔衛生に対する意識向上を図るイベント等へ参画出来なかった。

※「専修学校における学校評価ガイドライン」(文部科学省)を基に作成